

あいりん地域まちづくり会議にかかる第10回「駅前活性化検討会議」及び
西成特区構想エリアマネジメント協議会第9回「地域活性化交流・観光専門部会」
議事要旨

1 日時 令和2年8月28日（金）午後3時00分から午後4時45分

2 場所 西成区役所 4階4-3・4会議室

3 出席者

（有識者）

阪南大学教授 松村嘉久、近畿大学准教授 寺川政司

大阪市立大学教授 水内俊雄

（大阪市）

三代西成区役所総合企画担当課長、鈴木西成区役所地域支援担当課長、
原西成区役所事業調整担当課長、木下都市計画局開発調整部地域開発担当課長、
梅原経済戦略局観光部観光施策担当課長

（地域メンバー）

大倉菽之茶屋第3町会長（大阪府簡易宿所生活衛生同業組合理事長）、
福永菽之茶屋連合振興町会女性部長、山田大阪府簡易宿所生活衛生同業組合相談役、
村井西成区商店会連盟会長、西口大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長、
上田NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）代表

4 議題

- (1) 前回までの議論の振り返りと現状について
- (2) あいりん総合センター跡地北側の活用方法等について
- (3) その他

5 議事要旨

- (1) 浪速区との連携について
- (2) あいりん総合センター跡地北側の活用方法等について議論
- (3) 意見等の概要
 - ・ 平面（オープンスペース）のみならず、建物を建設して高度利用する部分も併用して、効率的に跡地を活用していくことが望ましい。
 - ・ 建物の建設や事業実施に必要なコストについて、にぎわいのエリアを中心として財源を生み出すための知恵を出していく必要がある。
 - ・ 地域の歴史等を伝えていくアーカイブ機能や、図書館などのコミュニティ機能を有

する場所が必要である。

- ・インバウンド需要のみに依存せずに、国内の旅行者に目を向けて、「ここだからこそ体験でき、学べる場所」を作り上げていくべきである。
- ・保健福祉センター分館、もと東田保育所、わかくさ保育園、西成市民館などの公共施設について、あいりん総合センター跡地への移転を検討すべきである。
- ・住民の福利の機能は公民館のイメージで、保育園なども含めて、多様な人が参画することができる場所とすべきである。
- ・防災機能は、新たな労働施設も含めて、可能な限り、この場所で担保できる機能等を検討していくべきである。

(4) 今後の対応

あいりん地域における公共施設の移転可能性や、にぎわいの要素として他都市の農産物直売所等の事例などを調査のうえで、にぎわい・住民の福利の両要素の配置等について、引き続き検討を行う。

6 会議資料

- 配付資料1 あいりん地域まちづくり会議にかかる第9回「駅前活性化検討会議」及び西成特区構想エリアマネジメント協議会第8回「地域活性化交流・観光専門部会」議事要旨（案）
- 配付資料2 ありむら氏作「道の駅」構想
- 配付資料3 国土交通省HP「道の駅」
- 配付資料4 配置パターン検討案
- 配付資料5 萩之茶屋地域における防災機能について
- 配付資料6 あいりん総合センター跡地等利用イメージ